

中部地区 公民館だより

第136号

令和 4 年 6 月 7 日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

元気いっぱい 楽しくプレー

5月15日(日)、中部地区管内の子ども会育成会会員とその保護者を対象にキックベースボール講習会を開催しました。天気に恵まれ、生涯学習センターグラウンドを会場に、37名の参加者と7名のスタッフが楽しくプレイしました。講師の佐々木壽さんよりキックベースボールについて説明があり、その後、ルールを確認しながら遊び感覚で実技の指導もしていただきました。初心者も低学年の児童も安全に気軽に楽しむことができ、競技に親しむことができました。グラウンドには、子どもたちの元気な歓声が響き渡り、「子どもの笑い声はいいな」と周りの大人も笑顔になりました。

どこが危ないのか みんなで考えたよ

キックベースボール講習会の前に、予想外の「事故」「危険」を避けるために、危険予知トレーニングを行いました。市子ども会育成連絡協議会渡辺泰友会長の指導で、イラストを見ながら、危険個所について意見を出しあいました。子どもたちが、自らのこととして自覚を促す良い機会となりました。

安全を確保し、より楽しい活動にしましょう！



中学生や高学年の児童が、小さい子ども達の面倒を見て、一つひとつ教えながら競技する姿が、微笑ましくもあり、頼もしくもありました。キックベースボールを通して、地区を超え、学年を超えて優しい繋がりができました。

久しぶりに屋外で元気に走り回り、大人も子どもも、気持ちの良い汗を流しました。



はこべの会

開級式と第1回学習会

5月17日(火)、令和4年度はこべの会(高齢者教室)の開級式と第1回学習会が行われました。

学習会は斎藤茂吉記念館を訪れ、斎藤茂吉が残した業績や生活を伝える資料や、映像展示室では「斎藤茂吉とその時代」と題した映像を見ました。

「郷土の偉人に感銘を受けた」、「何回か行ってますが、今回は本当に良く観れました」などの感想をいただきました。



斎藤茂吉記念館前にて



スマホ教室

5月19日(木)、スマホ教室(1回目)が開催されました。

中部地区公民館の佐々木 壽地域づくり推進員を講師に迎え、初心者向けに、基本操作、アプリの更新、フィッシング詐欺などについて学びました。

その後、質問コーナーでは、「反応が遅い時のはどうすればいいの?」、「スマホの容量はどうしたら調べられるのか?」などの質問が出されました。

次回は西山を散策しながら、ひめさゆりなどの植物をスマホで撮影することを学びます。



令和3年度参加者の作品です

短歌、俳句、川柳 通信大会

作品募集

- ・応募期間 令和4年6月1日(水)から令和4年10月31日(月)
 - ・応募規定 未発表作品とし、1人2首または2句以内
 - ・応募方法 ①中部地区公民館宛てに郵送 ②公民館ポストに投函 ③公民館窓口で応募
 - ・対象 中部地区在住の方
 - ・応募部門 ・小学生の部・中学生の部・一般の部
 - ・応募用紙記載項目 ①応募作品②名前(ふりがな)③郵便番号④住所⑤連絡先電話番号
 - ・選者 ⑥小・中学生の場合は学年
 - ・賞 ・短歌 鎌上純子先生 ・俳句 佐藤権一郎先生 ・川柳 松田吉彌先生
- ①優秀作品は公民館だよりに掲載します。
②優秀作品受賞者の方には、郵送で賞品をお送りいたします。

◎応募用紙が必要な方は中部地区公民館で用意しております。

◎優秀作品は公民館だよりに地区名、氏名を掲載しますので、ご了承ください。

◎応募作品は返却いたしません。





参加者募集

グラウンド・ゴルフ大会

日 時	6月27日(月) 午前8時15分 午前8時30分から 午前8時50分から 午前9時10分から	健康ポイント対象事業 20P 付与 スタッフ集合 受付開始 開会式 競技開始
場 所	生涯学習センターグラウンド(雨天時はピロティー)	
対 象	中部地区在住の方	
参 加 費	無料	
申込受付	6月9日(木)	
申込締切	6月20日(月)	
持 ち 物	帽子、タオル、必要な方は飲み物	
そ の 他	動きやすい服装でご参加ください 用具をお持ちでない方は公民館で準備します	



参加おまちして
おります



街歩きウォーキング(西山ホテル)②

初夏にしか見られないホテルたちの幻想的な姿を観にいきませんか

日 時	7月2日(土)	健康ポイント対象事業 20P 付与
集合場所	中部地区公民館	
集合時間	午後6時50分集合	
ガ イ ド	西山地区会長 牧野義文さん	募集人数 15人(定員になり次第締切ります)
対 象	中部地区在住の方	申込受付 6月9日(木)
参 加 費	無料	申込締切 6月27日(月)
		服 装 散策しやすい服装
		持 ち 物 懐中電灯



中学生以下(保護者同伴)の参加者、
お待ちしております

6月の予定

- 1日(水) はこべの会美化活動
- 3日(金) 街歩きウォーキング(坊平)
- 9日(木) 防災講座
- 10日(金) 公民館職員合同研修会
(職員は午後留守になります)
- 16日(木) 上山城周辺清掃(地区会長会)
- 17日(金) 苔盆栽、テラリウム教室
- 21日(火) はこべの会学習会①
- 23日(木) はこべの会学習会②
- 27日(月) グラウンド・ゴルフ大会
(職員は午前留守になります)



公民館事業に参加する際は、コロナウィルス感染拡大防止のため上履き持参、マスク着用をお願いします。

6月のお知らせ

- ☆ 6月の百歳体操は、2日、9日、16日、23日、30日です。
- ☆ 6月のはこべの会サロンはお休みです。

5月3日(火)、25日(水)の火災報知器の誤作動では、近隣の皆様にご迷惑をおかけいたしました。大変申し訳ありませんでした。

地域の宝再発見

NO.7 1

シリーズ『本丸破却』（1） 早飛脚～土岐侯の転封（その1）

土岐頼殷侯は大阪城代就任により上山を離れることになりました。その間のこと、城取り壊しのことを古文書は詳細に記録しています。まず江戸初期の上山を改めて整理します。

お城城郭の整備完成とされる「三島神社」勧請は万治三（1659）年でした。能見松平重忠侯、蒲生忠知侯、土岐二代（頼行侯、頼殷侯）の初期三家によって徐々に城と町が整えられて戦国の混乱から平穏な上山藩の礎が定まりました。この間、羽州街道が湯町経由から新丁坂下経由となり、万治元（1658）年西光寺跡地に松山御殿を造り、寛文八（1668）年山王山高台から清光院を軽井沢に、延宝五（1677）年には観音寺を舞鶴の丘高台から下げました。「城内不眺望の施策」とされます。こうした城下町の骨格、加えて今まで検証してきたように前川の不自然な分断の痕跡も絵図に画かれながら温泉・城下・宿場町の街並みが定まったことが確認できます。これらにより現在の中心市街地鶴脛町、十日町、二日町、栄町、八日町の街並みの骨格が整備されたことを意味します。

ところが、隠居し宗是と号していた土岐頼行侯が、中湯ができた同じ年の貞享元（1684）年に江戸で死去、かつて指南を受け帰依した沢庵禅師のお墓がある春雨寺（かつての東海寺）に葬られ、それから数年後、突如頼殷侯は大坂城代となり、その後上山城破却が伝えられます。その折の領民の様子が詳細に書きとどめられています。

頼殷侯の大坂城代就任とその後のお城破却は、土岐家に何らかの失政があったのでしょうか。なぜ上山城本丸は破却されたのでしょうか。市民にとっての一番の関心事です。城はぎ（破却）の理由について「市史」や各郷土史、資料

集は記していません。

転封とお城の破却は幕府のお咎めではないかとの疑がわれる要素は、幕府に提出の城郭図『正保絵図』の信憑性（本丸櫓の階層）の問題、武家諸法度に抵触する松山御殿（城支城）の築造のことがあります。それらもあってか幕府巡見使が城内にまで入って見定めています。天和元（1681）年「5月14日当町お休みの折り御上使の御内意にて城内へ入り見物して廻る。次に家老寺田清兵衛方へ御使いなどこれあり候」とあります（同『見聞日記』）。城内に入って何を見、家老宅に出向いて何を質問したのか、これ以上のことは記載されていません。巡見使の査察はお城の破却から遡ること10年前のことになります。いろいろ想像が膨らみます。

さて、土岐頼殷侯の大坂城代就任の件で早飛脚が到来した様子を『見聞日記』は詳細に記録しています。「元禄四（1691）年正月15日に早飛脚が来て11日に土岐頼隆侯ご登城仰せつけられ、“大坂城代”に申し付けられました。六十年来当家お続いて立身出世のことですが、城代就任後にどこへお所替えあるのだらうと町民、百姓大いにうろたい騒いだ」と書き記し、「庄屋たちが顔突き合わせ大坂城代になるのは立身の幸せだが、ご領地は只今までのとおりに土岐家のご支配になりあそばされるならば諸町人百姓一同ありがたく存じます旨を、町庄屋より五人を選んで（一週間後の）正月23日に上山を出立させて江戸の番御老中までお願いに上る」と記録しています。

このシリーズで土岐頼殷侯の転封とお城破却のを見ていきます。

※参考文献：「上山市史」、「上山三家見聞日記」、「上山見聞随筆」を参照しました。